

第6学年 図画工作科【R6 授業】

【研究テーマ】令和5・6年度 清瀬小学校 校内研究

いのちの学習～教科横断的な6年間の学習プログラムの作成を通して～

1 ブロック目標「いのちプロジェクト専科～いのちのあたたかさ・尊さを実感する児童の育成～」

2 題材名「いのちのかたち」A表現（1）イ（2）イ、B鑑賞（1）ア、共通事項（1）ア、イ

3 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する目標

- ・ 「いのち」を表す形や色を思い浮かべ、イメージを広げて絵に表すときの自分の感覚や行為を通して、動きやバランス、木炭のできる黒の濃淡や形などの造形的な特徴を理解する。
- ・ 表現方法に応じて木炭や消しゴム、自分の手を活用するとともに、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法を組み合わせ、表したいことに合わせて表し方を工夫する。

(2) 「思考力・判断力・表現力等」に関する目標

- ・ 「いのち」について感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、模様、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。
- ・ 自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
- ・ 動きやバランス、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

- ・ 木炭と積極的に関わりながら主体的に「いのち」を表す形や色を思い浮かべ、イメージを広げて表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

4 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 自分の感覚や行為を通して、動きやバランス、形・色などの造形的な特徴を理解している。 ② 表現方法に応じて木炭や消しゴム、自分の手を用いた表現方法を組み合わせ、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	① 「いのち」について感じ取ったことや想像したことから表したいことを見付け、形や線、模様、材料の特徴などの感じを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 ② 形や色、模様などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の	① 進んで画材の特徴を感じ取り、作りだす喜びを味わい主体的に形や線を表現する学習活動に取り組もうとしている。 ② つくりだす喜びを味わい主体的に互いの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の違いの面白さなどについて、感じ取っ

	意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	たり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
--	---	--

5 指導観

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示) 第 2 章 第 7 節 図画工作
第 2 各学年の目標及び内容を受けて設定した。

[第 5 学年及び第 6 学年] 2 内容

A 表現

- (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。
- (2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B 鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

[共通事項]

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
 - イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

本題材は、木炭で黒く塗りつぶした画面を自分なりの「いのち」のイメージを大切にしながら消しゴムや指で白く形や線を表し、試行錯誤しながら自分なりの形や色で表していく題材である。いのちは目には見えないものである。これまでに生活科や総合的な学習の時間で学んできた「いのちの学習」や児童の経験を思い起こしながら、一人一人にとって特有ないのち、生まれてくるいのち、かけがえないいのち、変化し続けていくいのち、尽きるいのちを感じたり考えたりしながら身体全体で探り出すように描く。本題材を通して、自分のいのちを実感したり、自分の感じたことや考えたことを表現する喜びを味わったりするとともに、目には見えない形を模索しながら自分自身の表現を深めていく活動へつなげていきたいと考える。また、表現する楽しさを味わいながら、自分たちの作品を鑑賞する活動を通して、一人一人の見方や感じ方の違いを理解し、新たな見方や感じ方を発見することができるようにしたい。

(2) 児童観

本学年の児童は、第5学年の「心の窓」という題材で自分の気持ちに向き合い、形や色で表すことの楽しさに気付くことができた。活動や振り返りから、授業の中で形を組み合わせる面白さに気付いたり、友達が表した色の重なり的美しさを感じ取ったりする様子が見られた。また、同学年の「色と形のハーモニー」という題材では、目に見えない音を形や色で表すという活動を行い、アートカードゲームを通して音を表す言葉から形やイメージを広げる面白さを味わった。しかし、視覚では把握できないものを想像してそこから抽象的な形や色のイメージを広げることに苦手意識をもつ児童がいる。また、表現のよさや違いを積極的に共有し、自分の作品に生かすことや、用具の特徴を理解し、表現の仕方や構成のバランスを考えて自分の表現をより深めるところまでは至っていない。また、「いのちの学習」においては自分の長所を生かして、どのような役割を果たしていきたいか考え活動する中で、自分の生き方についての実感を伴った理解を深めている。役割を果たし、よりよい生き方をしていこうとする意欲につなげるために、「いのち」はかけがえのないものであると、実感することを目指して取り組んできている。

そこで、本題材を通して、目には見えない「いのち」についてこれまでの学習や経験を生かしながら表し方を選び、形や色の重ね方や組合せを考えて、試行錯誤しながら自分なりの表現を深めたい。

(3) 教材観

高学年の児童にとって、身体性を生かした造形体験は、感覚や感情を揺さぶりイメージを広げていく大切な経験である。

今回、画材として色が定着しづらい木炭を用いたのは、身体を動かし、色を付けたり消したりする動きを繰り返しながら自分なりの「いのちのかたち」を模索したいと考えたからである。塗る、消すという行為の抵抗感が、学習意欲を高め、1人1人の命を感じる力やイメージを表現する力を引き出していく。普段形を消すための消しゴムや身体の一部である自分の指が形や線を表出させる道具になる面白さや、消しゴムで消すことの抵抗感や白黒の色の中から生まれるグラデーションや線の美しさを味わうようにしたい。また、画用紙は、児童が身体全体で挑めるように横幅を児童の肩幅以上にし、正方形とすることで、様々な角度から作品を見てその変化を楽しむことができるようにする。

種を起点にして少しずつ形が現れ変化していくように描くことで、そのプロセスをしっかりと受け止め、形を生み出す緊張感や喜びを味わい、生命にとって大切な「いのち」の形を自分の手で生み出す楽しさを感じ取るようにしたいと考える。

6 材料や用具

○教師…木炭紙、木炭、新聞紙、フィキサチーフ（定着材）、トイレットペーパー

○児童…消しゴム、タブレット端末

7 年間指導計画における位置付け

	題材名	学習内容
第5学年	心の窓（5月）	自分の気持ちから形や色を想像し、表現の重なりや美しさを感じ取る活動。
	色と形のハーモニー（10月）	音や曲から形や色を想像し、表現の仕方や動き、バランスを考えて表す活動。
第6学年	心にさく花（5月）	心の中にさく花を想像し、これまでの経験を総合的に生かしながら自分なりの花を表現する活動。
	いのちのかたち（9月） （本題材）	「命」とはどのようなものかを想像し、これまでの学習や経験を総合的に生かし、試行錯誤しながら形や色で表す活動。

8 「総合的な学習の時間」における取組

	単元名	学習内容
第5学年	自分に関わる人を調査しよう	自分の身の回りの人が担っている役割について考え、自分について客観的に知り、これからの自分の役割を見出す。
	お米を育てよう	バケツ稲の植え込みから収穫までを行い、成長を観察し、学んだことを発表する。
	地域の人を調査しよう	自分をもっと知りたい役割に関係する仕事を見つけて調べ、発表する。
	世の中の人を調査しよう	世の中にある、自分がいかしたい役割に関係する仕事について調べる。
	ハンセン病について学ぼう	ハンセン病、ハンセン病問題について知り、学んだことを発表する。

	単元名	学習内容
第6学年	6年生の役割は	最上級生としての活動を行い、上手くいったことや困ったことの記録を蓄積し、共有する。
	日光を守る人たち	日光修学旅行で出会った人や調べた人についてまとめ、発表する。
	自分の長所を生かすとは	今の自分の長所について考え、どのように生かしていきたいかを考える。
	学校・地域のためにできること	自分の長所を生かして学校・地域の中でできる活動を行い、成果や課題、自己の成長を実感する。
	学ぶことの意味を考えよう	やりたいことを実現させ、よりよい生き方をしていくには、学び続けることが必要であると実感する。
	これからの自分を表現しよう	小学校生活で成長したことや出来るようになったことを生かして、どんな生き方をしていきたいか考え、表現する。

9 題材の指導計画と評価計画（全6時間）

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準		評価方法等
			内容	記録	
第1時	<ul style="list-style-type: none"> 進んで画面を黒く塗りつぶす活動から、木炭という画材の特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単には色が付かない抵抗感のある木炭の特徴を感じ取る。 紙を黒く塗りつぶしたり、指の跡を付けたりしながら木炭に親しみ、特徴を理解する。 	ウ①	○	活動の様子の観察、個別の対話、ワークシート
第2時	<ul style="list-style-type: none"> 「いのち」のイメージについて言葉を用いて広げ、どのように主題を表すかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いて、絵や言葉で「いのち」についてのイメージを広げる。 友達と考えを共有し、感じたことや考えたことを自分のイメージを深めることに生かす。 少しずつ自分の中に「いのち」のイメージを立ち上げる。 	イ①	○	活動の様子の観察、対話ワークシートの内容
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法に応じて用具を活用するとともに、材料の扱い方についての経験や技能を総合的に生かす。表現に適した方法を組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいことに合わせて試しながら表し方を工夫し、表現を深める。 活動の途中で友達作品を見ながら描画材の工夫した使い方や用具の特徴を生かした表現方法を学ぶ。 	ア② イ②	○	活動の様子の観察、作品対話
第4時	<ul style="list-style-type: none"> 表現意図に合わせて用具の使い方や組合せ方を考えて表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具を活用し、これまでの経験を生かして自分の思いに合う表し方を工夫して表す。 タブレット端末内のスライドに活動の振り返りを記入する。 	ア①	○	活動の様子の観察、作品、タブレット端末内の振り返りシート
第5時	<ul style="list-style-type: none"> 互いの作品を鑑賞し合い、作品のよさや構成の美しさ、表し方の違いの面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に題名を付け、見どころを名札に記入する。 友達作品を鑑賞し、気付いたことや考えたこと、感じたことをタブレット端末内のスライドに記入する。 	ウ②	○	活動の様子の観察、個別の対話、タブレット端末内の振り返りシート
国語					
第6時	<ul style="list-style-type: none"> 自身の作品を見つめ直し、自分の思う「いのちのかたち」を詩で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したかった「いのちのかたち」が何か考える。 「いのちのかたち」を表す言葉を出し合う。 出し合った言葉をもとに一人一つの詩を書く。 	B (1) オ	文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えている。	ワークシート

10 本時（全5時間中の第3時）

(1) 本時の目標

・「いのち」とはどのようなものか想像を膨らませ、木炭で塗りつぶした画面を消しゴムや指で消しながら表現に適した方法を組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・木炭を使った表現の仕方を確認する。 ○形や色の様々な表し方があることを学ぶ。 ・学習のめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇前時で使用した木炭の特徴について発問し、黒板に資料を掲示する。 ◇本時のめあてを板書する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 「いのち」のイメージや思いに合わせて、形や色の表し方を工夫しよう！ </div>			
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を終えてどのように表現するかを考え、自分の作品と向き合い、イメージに合う用具や表現方法を考える。 ○思い描く「いのち」のイメージに合わせて使い方や表し方を工夫する。 〔予想される児童の反応〕 C: 「いのち」のあたたかさを表すために、画面をこすってから丸い線を付けてみよう。 C: 様々な「いのち」の形があることを線や点の動きで表現したいな。指でトントンとたたいてみよう。 ○友達の作品を鑑賞する。 ・スクリーンに映し出された友達の作品を見て、よさや面白さを感じ取り、どのようなところがよいと感じたか発表する。 〔予想される児童・生徒の反応〕 C: 「いのち」のまわりを白く表現することで、「いのち」が輝いて見えるところがよいと思った。 C: 白く表現する時に、こするか、たたくかによって違った表現に見えるのがすごいと思ったので、次回挑戦してみたい。 ○鑑賞後、自分の作品と向き合い、再度形や色に表す。 ・班で分担し、後片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇用具を準備する。 ◇参考作品の写真を掲示し、児童が自分のイメージを膨らませることができるようにする。 ◇用具の使い方や表現の仕方を観察し、児童の思いがよりよく表現できるように指導する。 ◇用具をどのように使うか悩んでいる児童には、「いのち」のイメージを聞き出し、思いに合う物を選ばせ、どこに付けるとよいか話をしながら個別に対応する。 ◇児童のつくっている作品の写真を撮り、スクリーンに映し出し、そのよさについて共有していく。 	<p>ア②（活動の様子、作品、対話）</p> <p>イ②（発表の様子、児童のつぶやき）</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ◇片付けの説明と指導を行う。 	

ま と め 5 分	○本題材の振り返りを行う。 ・ 次回の活動内容を知る。	◇本日の活動の振り返りを発表する。 ◇次時の学習の見通しをもたせる。
-----------------------	--------------------------------	---------------------------------------

(3) 板書計画

今日のテーマ 「いのちのかたち」

めあて 「いのち」のイメージや思いに合わせて、形や色の表し方を工夫しよう！

本日の流れ

- (1) どのように表すか考える。
- (2) 活動
- (3) 友だちの作品を見る。
- (3) 活動
- (4) 片付け
- (5) 振り返り

木炭の表し方

参考資料

片付け

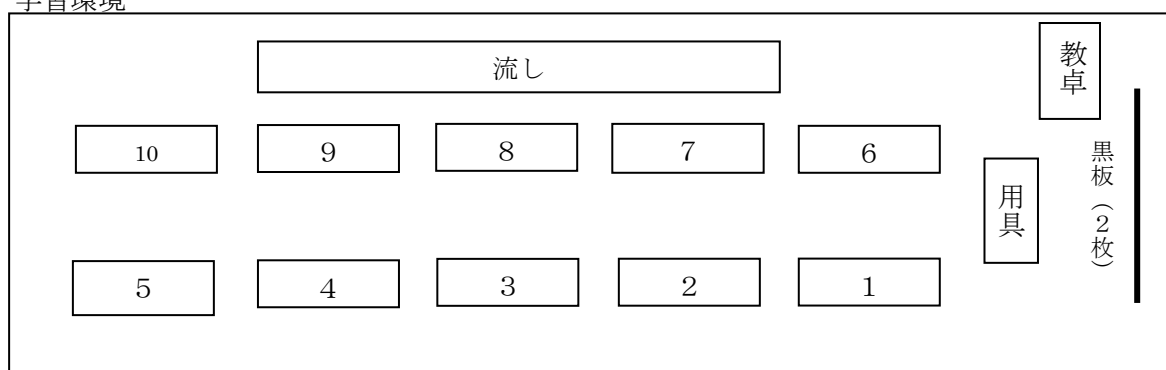
- ② 手を洗う。
- ② 用具を片付ける。

作品と新聞紙は机の上に置く。

14時05分まで

スクリーン
(児童の作品を映し出す)

(4) 学習環境



(5) 授業観察の視点

- ・ 本時の活動は、これまでに「いのちの学習」を積み重ねてきた児童にとって「いのち」のイメージを広げ、自分なりの表現を表す上で適切であったか。
- ・ 導入や授業の展開において、ICT機器で児童の作品を見せ、そのよさを伝える活動は児童の作品のイメージを広げ、表し方の工夫をする上で有効だったか。